



令和3年度 第3回白井市在宅医療・ 介護連携、認知症対策推進協議会

2022.3.10(木)

<目次>

(1) 課題別ワーキングの取組み報告

(2) 救急医療情報シートの見直しについて

(3) 在宅医療後方支援制度の実績報告

(4) 徘徊保護高齢者への対応実績報告

(5) 次年度の事業実施方針について

(6) 意見交換

1. 課題別ワーキングの取組み報告

令和3年度の体制

在宅医療・介護連携、
認知症対策推進協議会

病院長会議
(在宅医療後方支
援体制)

在宅医療・
救急医療連携
WG

多職種連携
情報共有
システム普及
(ICT普及)WG

市民啓発WG

① 在宅医療・救急医療連携ワーキング

【今年度の検討事項】

- 救急医療情報キットの普及について
- 救急医療情報シートの情報更新について
- 在宅における救急時対応と看取りの現状把握と課題の抽出
- 在宅療養者の人生の最終段階の過ごし方についての意思把握の方法やその意思を尊重するための取り組みについて

【検討メンバー】

救急救命士、訪問看護師、病院看護師、病院相談員、
ケアマネジャー、地域包括支援センター職員

※救急医療情報シート見直しに際して、森谷医師にアドバイザーとしてご協力頂く。

開催日	内容
第1回 7月20日(火)	<p>【現状の共有、課題の抽出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急活動現場におけるキットの活用状況 ・シート記載内容についての問題点 ・コロナ禍で制限されたキット普及の取り組み
第2回 9月16日(木)	<p>【課題の整理、具体策の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キット普及に向けて各関係機関が取り組む具体策の提案 ※次ページスライドに記載 <p>【情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実施について ・人生の最終段階における医療・ケアに関する動向について
第3回 12月16日(木)	<p>【救急医療情報シートの見直しに向けた検討】</p> <p>【意見交換】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅における救急時・看取り時の課題
第4回 2月17日(木)	<p>【救急医療情報シート最終案の検討】</p> <p>【意見交換】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急要請時におけるケアマネジャーの役割 ・次年度ワーキングの取り組みテーマについて

シート作成の手間を削減するため、データを市から提供する

<市外ケアマネ>
・市主催の説明会に他市ケアマネにも参加してもらう
・印西市に依頼してケアマネ勉強会で周知してもらう

市内（3か所）個別に説明を行う

市外事業所（鎌ヶ谷・柏・印西・船橋）へどう働きかける？
地域包括やケアマネ経由で個別アプローチ？

<市内ケアマネ>
年1回キット普及について説明する

ケアマネ

訪問看護

～キットの普及に向けて～
関係機関へのアプローチ方法

市民

消防本部との打ち合わせを継続し、実績や課題の共有を行う。

消防署

病院

市広報、ホームページで周知する
出前講座を開催する
地域新聞やらーばんテレビなどメディアの活用を検討する

救急現場でキットの周知用リーフレットを本人・家族に配布する

医療・介護関係者と顔の見える関係性を築くため、多職種連携研修会への参加を依頼する

病院職員向けにキット普及講習会を開催する

急変時対応シミュレーション トレーニング

利用者

あなたに何ができるか？

日頃の介護サービスで「いつもと様子が違うな」と感じたときに
この講習で「どう対応したらいいか」を学び、役に立てていただきたいと思います。
観察ポイントと対応方法を学びます。

2月4日(金)

10:00～午後8:00

白井市保健福祉センター3階団体活動室

講師

神栖済生会病院 小田 有哉 医師
(日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター非常勤医師)

対象

白井市内の介護施設職員(介護職員、看護師等)

内容

- ・心肺停止状態を発見した時の対応シミュレーション
- ・いつもと様子が違うと感じたときや思いがけない事故(転倒や窒息など)の際の観察ポイントと対応

参加
無料

主催：白井市地域包括支援センター 協力：印西地区消防組合消防本部
申し込みは、専用ファックス送信票をご利用ください。

再度の延期

② 市民啓発ワーキング

【今年度の検討事項】

開催日：第1回 8/3 第2回 10/22 第3回 1/14

- 在宅医療や介護サービス、在宅看取り、人生会議（ACP）について、市民向け普及啓発用媒体の内容
- 「しろい在宅医療フォーラム」の代替イベント

【検討メンバー】

ケアマネジャー、ヘルパー、訪問リハビリ理学療法士、訪問看護師、救急救命士、薬局薬剤師、地域包括支援センター職員

【取り組みの成果】

● **資料 1** : 市民向け普及啓発資料の完成

内容：人生会議（ACP）、在宅医療や介護サービスの説明



令和4年度の「なるほど行政講座」に新メニューとして追加
「縁起でもない話をしよう！もしもの時に備える終活支援講座」

● ロビー展示イベントの開催

令和4年3月14日～23日

保健福祉センター1階ロビー

内容：市民向け普及啓発資料の展示

終活支援ノートの展示、配布

介護施設の紹介、作品展 など

③ 多職種連携情報共有システム普及啓発部会

【今年度の検討事項】

開催日：第1回 7/8 第2回 1/20

- 医療・介護の関係職種への周知、普及啓発
- システム運用のルールづくり、利用手引きの作成
- 「白井市在宅医療後方支援制度」の手続き電子化

【検討メンバー】

医師、歯科医師、薬局薬剤師、市内3病院関係者（事務、MSW等）
看護師、訪問看護師、訪問リハビリ理学療法士、ケアマネジャー、
ヘルパー、救急救命士

【取り組みの成果】

- 「システム利用の手引き」を作成
内容：利用登録の流れ、使用上の留意事項等
- 「在宅医療後方支援制度」の登録手続き電子化
患者登録、半年毎の情報更新を紙媒体からシステム利用へ移行
- 医療・介護関係者へのシステム利用普及啓発
アカウント発行数 令和3年3月末 30件 →令和4年1月末 54件

2. 救急医療情報シートの見直しについて

資料 2

救急医療情報シート修正案

【見直しの主なポイント】

- 介護度区分の記載欄を設けた
介護認定結果 3 回分の記載が可能
- 支援関係者情報欄を必要度の高い 2 か所（ケア
マネジャー・施設関係者、訪問看護ステーション）に絞り込んだ
- 過去の救急搬送情報などの記載欄を設けた
- 訪問診療・往診に関する記載欄を設けた
- 延命治療について本人の意向を表す欄を設けた

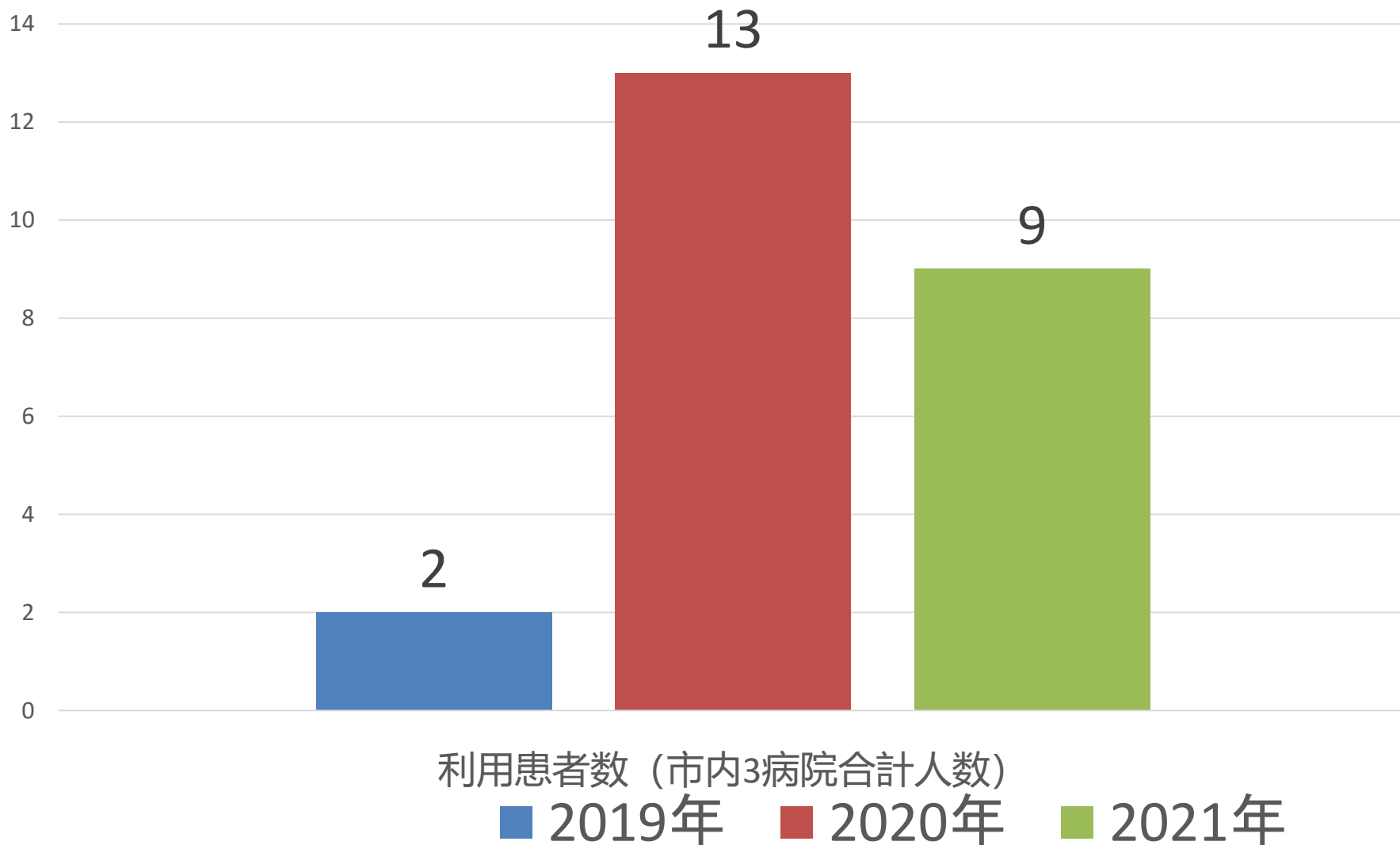
3. 在宅医療後方支援制度の 実績報告

在宅医療後方支援制度 登録者および利用者数

(2021年1月～12月末)

	白井聖仁会 病院	北総白井 病院	千葉白井 病院
登録 患者数	26		
利用 患者数	6	2	1

在宅医療後方支援制度利用患者数の推移



※制度運用開始は2019年4月1日

制度運用についてオンライン意見交換会を実施

- 運用上の課題は特にないというのが市内3病院共通の意見
- 登録手続きが電子化されたことで、時間を問わず情報の発信・確認が行えて、手間も軽減された。
- コロナ禍において、退院時カンファレンスが開催できない中でも、システム活用により情報共有が円滑に行えるので積極的に活用していきたい。
- 市外の訪問診療機関の登録も今後増えていく見込みに対して、市として登録手続きや情報更新ルールの説明を丁寧に行っていきたい

4. 徘徊保護高齢者への対応実績報告

徘徊保護高齢者への対応について

【情報提供】

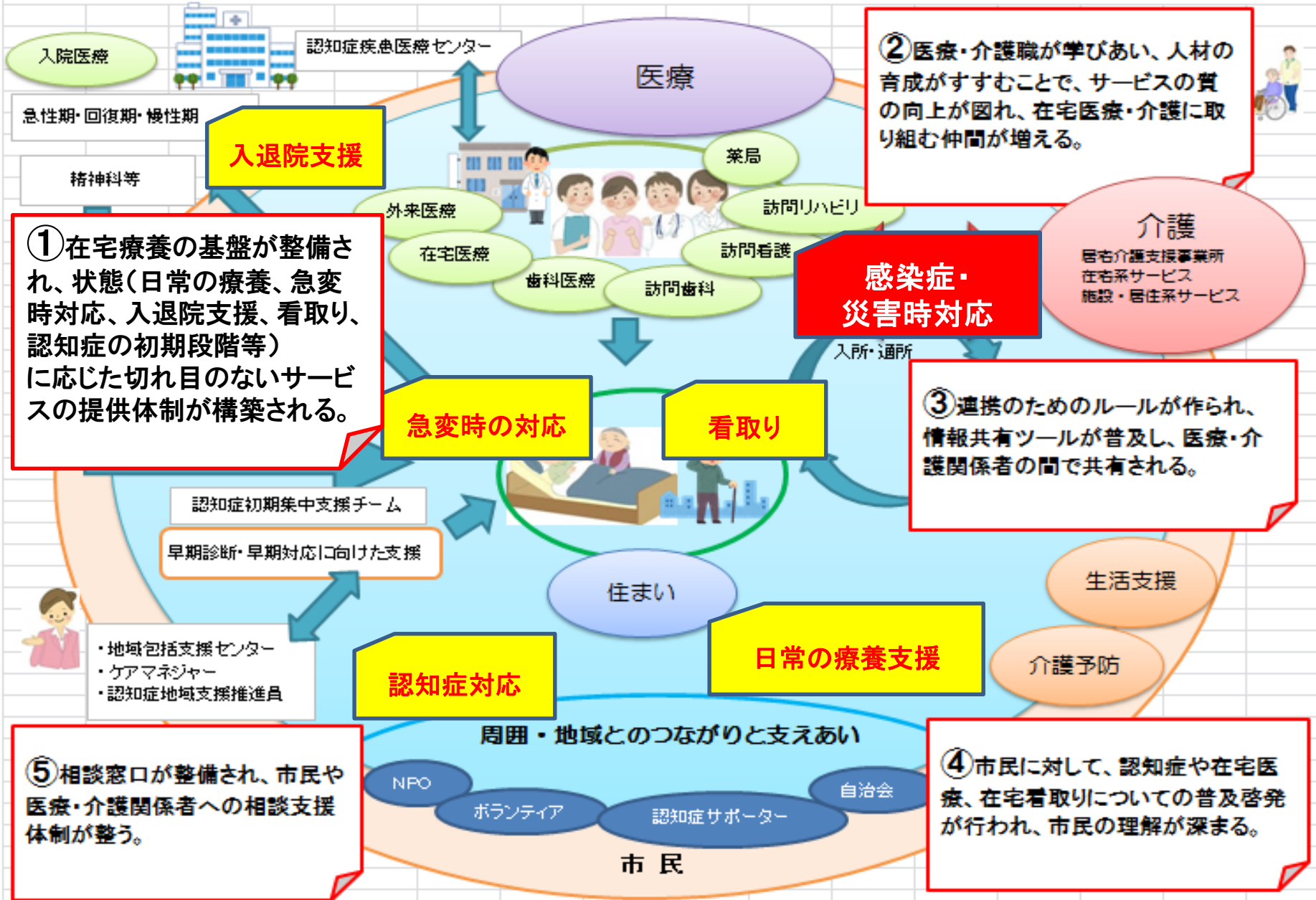
情報提供の方法	令和3年度	令和2年度	令和元年度
千葉県内警察署からの情報提供(情報提供について家族の同意ありの者)	2件	28件	16件
SOSネットワーク(防災無線依頼)	12件	11件	11件

【対応結果】 ※支援フローチャートに基づいて対応実施。

対応内容	令和3年度	令和2年度	令和元年度
ケアマネあり (情報共有・対応方法を検討、対応を引き継ぐ)	2件	12件	12件
ケアマネなし (各包括へ対応依頼、本人・家族へ連絡・訪問実施、状況に合わせて介護申請・見守り支援等につなぐ)	9件	16件	4件

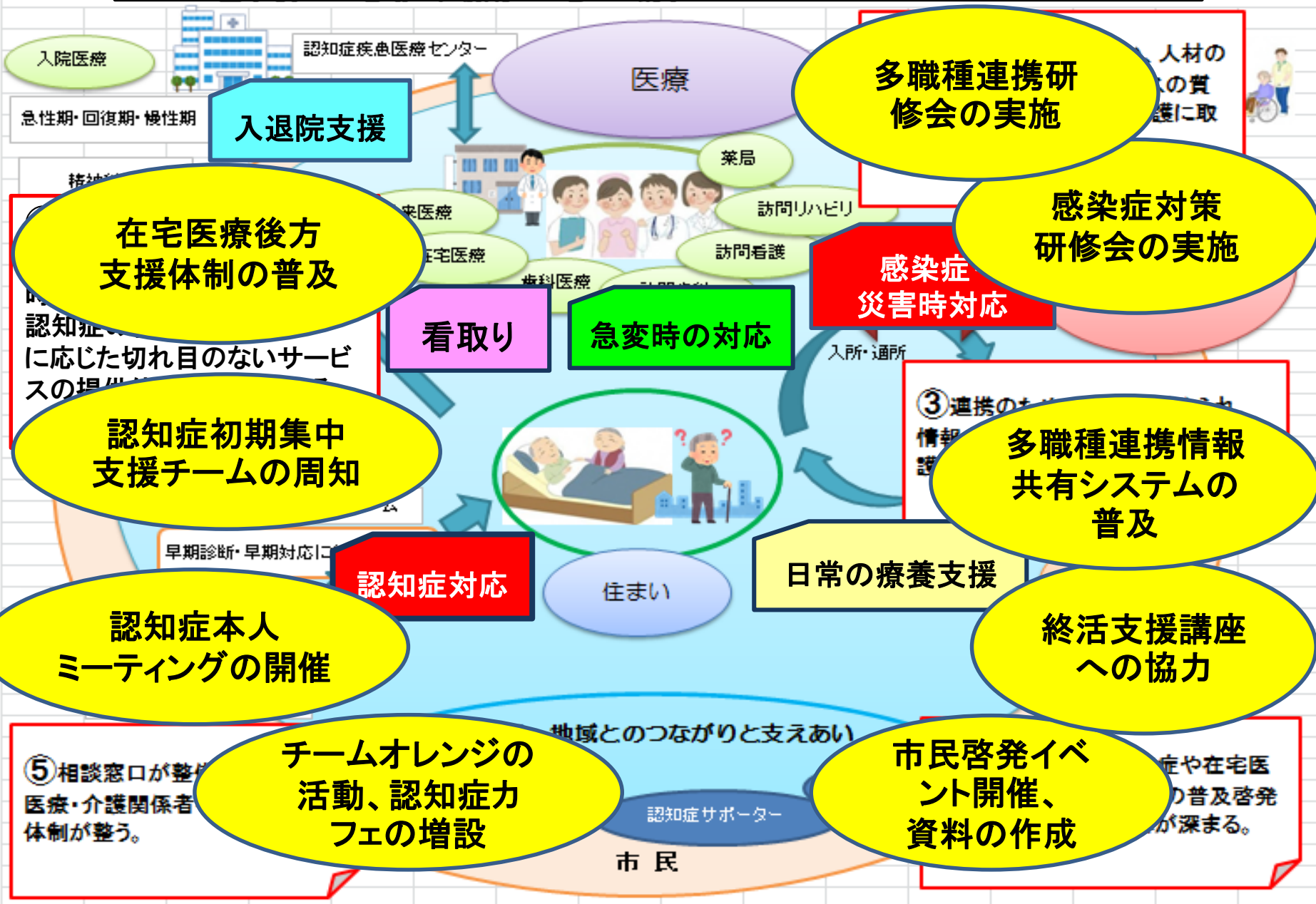
5. 次年度の事業実施方針について

住み慣れた地域で、最期まで暮らし続けることができるためには・・・



白井市の目指す姿 (5つの柱)

令和3年度の主な実績



在宅医療と介護連携イメージ（在宅医療の4場面別にみた連携の推進）



令和4年度の事業実施方針

日常の療養支援

在宅医療後方支援制度の普及、情報共有の推進、在宅療養への市民理解促進、在宅医療・介護の連携状況の分析

入退院支援

入退院時連携ルールBook活用状況の把握、入退院支援に関わる医療機関と介護事業所等の意見交換会

急変時の対応

介護事業所向け急変時対応講習会、医療・介護・消防（救急）の意見交換会、救急医療情報キットの普及

看取り

終活支援ノートやACPについて市民への普及啓発、介護関係者のACPへの理解醸成のための研修会

認知症対応

認知症周知啓発講演会(仮)の開催（認知症予防・医療等）、認知症支援体制の評価方法の検討・実施

感染症・災害時対応

災害時の在宅療養者への対応検討（関係課、消防(救急)、介護事業所）

6. 意見交換

当日、下記について委員の皆様からお話を伺いたいと思います。

コロナ禍において医療・介護職との連携時に課題に感じたこと